

第2回自主防災研究会

日時：平成23年5月25日（水）11：00～12：00

会場：愛媛大学ミュージズ3階 ミーティングルーム

参加者：愛南町、今治市、鬼北町、西条市、四国中央市、伊予市、伊方町、東温市、
愛媛県民環境部、大洲河川国道事務所、松山河川国道事務所、愛媛大学 計15名

議事内容：

配布物：東日本大震災における四国地方整備局の取り組みについて（整備局）

愛南町自主防災提供資料

伊予市自主防災事業報告

西条市自主防災事業一覧

研究会開催前に、整備局より、東日本大震災への支援活動概要を報告。その後、各市町より現在の自主防災組織における活動内容について報告を行い、今後の活動のあり方等について意見交換を行った。討議内容は以下の通りである。

○愛南町

自主防災連絡協議会を設立し、そこで、年度の方針を決定し自主防災訓練等を実施している。

○伊予市

講演会や研修会を中心として実施している。最近は自主防災組織から避難に関する研修の要望がでてきている。

○西条市

防災の訓練や講演会を実施している。内容は希望に応じて決定するが多い。最近は避難。また、訓練等の全体での実施は、地区の運動会など人が集まるときに一緒に開催するようにしている。

○今治市

自主防災連絡協議会はない。DVDでの研修や訓練を実施しているが、結成率がなかなか上がらない。最近、社会福祉協議会等の強力により図上訓練を実施したりしている。

○伊方町

大震災を踏まえて、現在のハザードマップや避難路の状況などを聞き取り調査中。今年度中にとりまとめて、今後どのように行っていくのか要望も含めて対応を考えることにしている。訓練等は地区行事に併せて実施している。

○四国中央市

結成率が現在57.5%、今年度は70%を目標としているが難しい。結成している地区でも、活動は特に実施できていない。震災を踏まえ、11月に一斉の避難訓練を実施することになっている。

○東温市

今年度自主防災連絡協議会を設立する予定。結成率は高くはない。訓練の実施等は組織によって疎らである。

○鬼北町

訓練実施率は組織の約36%。自主防災連絡協議会を設立している。4月23日に総会予定。南海地震対策のための議論となる。耐震等の訓練や講習会を実施する予定。

>高橋（愛媛大学）より、地域コミュニティの再構築が重要であり、地域を巻き込むような運営が今後の課題となる。

>連絡協議会を設立している市町は、その協議会の中で、そのような運営についての意見は？

どこかの地区がうまくいっても、なかなか協議会の中でその運営方法の紹介をしてもそれを他の地域で実践するまでにはつながっていかない。(愛南町)

また、自主防災組織のトップは自治会長が多く、自治会長は防災以外の業務もこなしているため、それだけには力をいれることが難しい。

>地域と、組織それぞれの運営が重要である。

>現在訓練を率先的に行っている組織等があれば、その組織が他の組織に教えるということは可能か？

>地域の人たちが、他の地域に教え、互いで協力しあうような自主防災組織ができれば理想的である。

○今後のやり取りは、メールにて適宜行う。